

八合馬平一通し面地方尾落外村吹浦村
古事記の旧記曰貞觀年中慈覺大師神言寺
開基の民當所に伽藍を建吹浦村の興院と
し永泉寺と号すとありそは天台なりと
云傳へり後來元龜和尙けるに任職せられ
曹洞宗となる和尙の親像あり境内に谷
あり親善堂あり古記より慈覺大師後
二渡りの石場記昭月より鞍石おといふ
あり又七ふ思後おといふ事を云傳へり寺
の前に檀の木あり例年正月二日吹浦

村の社殿中に出舞獅子段を演ぜ

一箕輪館

箕輪村の山表池の色にありにや異にれとあり 志未のホドキ

形今に堀おを事あり古記より館あり
といふ事今知る人なりそ東に箕輪村有
山の左あり出されし形を見れを記し
箕の輪のこと一故は箕輪館と云ふや
那館を諸なりし事十丁余支那の館およそ
傳りたりや山本宗依の募集に予二十八
歳の時馬髮山君といふ事を箕輪館より